

# 土曜 ライフ・楽しむ

## 「戦力外」後悔する前に鍛錬を

# わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



後に役立つと思います。

プロ野球公式戦が終了しました。皆さんのひいきチームの成績はいかがでしたか。地元ファイターズはここ2年、いまいちの成績です。一層の奮起を期待したいです。

今年はコロナにより当初の3月20日開幕の予定が6月19日にずれ込み、試合数も例年の143から120試合に減りました。選手の皆さんも体調管理、技量の維持に苦労したことと思います。

ドラフトで指名された選手たちは皆、希望に満ちた抱負を述べています。「開幕1軍」「新人王」「三冠王」「メジャーが夢」など大きく出る選手もいます。ケガしない体づくりをして、その夢に一步でも近づけるよう鍛錬し、息の長い活躍をしてほしいものです。

またこの時期は引退や戦力外通告を告げられる選手のニュースが紙面を飾ります。ベテラン、中でも引退試合をしてもらえるのは、長く活躍したか複数のタイトルを獲得した選手に限られます。ドラゴンズ・吉見、タイガース・藤川、スワローズ・五十嵐選手ら。同じベテランでも、タイガース・福留、能見、ホークス・内川選手らは現役を希望してまがいていきます。

プロの世界に選ばれたいというのはほんの一握りの難関。そこに飛び込んできても夢の

道半ばで進路変更を余儀なくされる選手もいます。中にはドラフト1位でありながら3年で戦力外となった選手もいるほどで、結果がすべてとは言え、厳しい世界です。まだ「トライアウト」があり、別のチームで機会を与えられるかもしれないので最後まであきらめないでほしいですね。

活躍できなかったのはケガやチームのニーズにマッチしなかった、コーチと合わなかったなど様々な理由があるようですが、「もっと練習しておけばよかった」と悔いを口にした人もいます。人一倍の鍛錬が不可欠なのでしょう。しかしその悔しさはきつと今

戦力外通告という響きはなんとも残酷、「もう君は不要」と言われるのですから聞いた時の心境はいかばかりでしょう。一般企業では引退＝定年退職、戦力外通告＝クビという感じかもしれません。

私の会社に来る営業マンにも、全くやる気が見えない人がいます。急に担当替えになった彼は嫌々なのが丸わかりで、専門領域の質問にもきちんと答えられない。若く新人のようで、仕方がないかとも思いましたが、聞いてみるとそこそこの経験者です。戦力外通告を受けない会社で安心、いや油断しているのでしょう。「あのときもっとまじめに取り組んでいたら……」と後悔しないよう、鍛錬とやる気を望んでいます。